

伴東小学校 第3学年算数科 シラバス

目標

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

3年生ではこんな学習をします。

月	学習内容	時数	学習のねらい
4	九九をみなおそう(かけ算)	6	●乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、乗法を適切に用いる能力をいっそう伸ばす
	時ごとと時間の計算のしかたを考えよう(時ごとと時間のもとのめ方)	4	●秒について知り、時刻や時間の求め方を理解し、日常生活で用いることができるようにする。
5	新しい計算を考えよう(わり算)	12	●除法の意味について理解し、それを適切に用いることができるようにする。
6	まるい形を調べよう(円や球)	11	●円や球についての観察や構成などの活動を通して、円や球を構成する要素に着目し、円や球について理解できるようにする。
	大きい数の計算を考えよう	11	●3～4位数の加法減法の筆算について理解し、それを適切に用いる能力を伸ばす。
	計算のしかたをくふうしよう(暗算)	2	●2位数どうしの加法、減法について理解し、生活や学習で用いることができるようにする。
	重なりを目をつけて	1	●2つの量の重なる部分に着目して解く問題の解決を通して、問題解決の能力を伸ばす。
7	わり算を考えよう(あまりのあるわり算)	11	●わり切れない場合の除法について理解し、それを適切に用いることができるようにする。
9	10000より大きい数を調べよう(大きい数のくみ)	12	●万の単位について知り、1億までの整数についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
10	かけ算のしかたを考えよう(かけ算の筆算)	16	●2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにする。
	どんな計算になるのかな?		●加減乗除法を適用して問題を解決する能力を伸ばす。
	大きい数のわり算	6	●簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考え、計算することができるようにする。
	長さをはかろう(長いものの長さのはかり方)	1	●長さについて、およその見当をつけたり、目的に応じて単位や測定器を適切に選んで測定したりできるようにし、長さについての理解を深める。
	はしたの大きさの表し方を考えよう	6	●小数の意味や表し方について理解し、小数の加法暗算ができるようにする。
11	三角形のなかまをしらべよう(三角形)	13	●三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形、角について理解する。
	分けた大きさの表し方考えよう(分数)	11	●分数の意味や表し方、分数の加法及び減法の意味について理解する。
12	口を使った式に表そう(口を使った式)	3	●未知の数量を口を用いて表し、関係や場面を式や図に表したり、式を読み取って場面を表したりすることができるようにし、口にあてはまる数の調べ方を理解する。
1	考える力をのばそう(全体と部分に目をつけて)	1	●減法並の減法などの問題を、図や口を使って解決することを通して、問題解決の能力をのばす。
	かけ算の筆算を考えよう(かけ算の筆算)	13	●2位数や3位数に2位数をかける乗法の筆算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
	見やすく整理して表そう(ばつグラフと表)	9	●身の回りにおける事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理して、表や棒グラフを用いて分かりやすく表したり、読み取ったりすることができるようにする。
	かたちであそぼう「ペントミノ」	1	●いくつかの図形を組み合わせて正方形や長方形を作る活動を通して図形に親しみ、その楽しさを味わう
2	重さをはかろう(重さのたんとはかり方)	10	●重さの測定などの活動を通して、重さについての単位の意味と測定の原理を理解し、重さの測定ができるようにするとともに、重さについての量の感覚を身に付けられるようにする。
3	考える力をのばそう(間の数に目をつけて)	1	●直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して問題を解決することを通して、問題解決の能力を伸ばす。
	そろばんで計算しよう(そろばん)	3	●そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにする。

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

**算数への関心・意欲・態度** 算数の学習に関心を持ち、進んで取り組もうとしていることを授業での態度や発言、活動に取り組む様子、ノート、プリントの記述などから評価します。

**数学的な考え方** 学習に見通しを持ち、筋道を立てて考え表現しているかどうかをテストや発表の内容、ノートやプリントの記述内容などから評価します。

**数量や図形についての技能** 整数の四則計算や図形の作図などができているか、テストや発表の内容、ノート、プリントの記述内容などから評価します。

**数量や図形についての知識・理解** 整数の四則計算や基本的な図形の意味が理解できているかを、テストやプリントなどの内容から評価します。